

「ジョブブラボシンプोजウム」

地域イノベーションは『新結合』

ジョブラボぐんま

一般社団法人ジョブラボぐんま（宮坂あつこ代表理事）は14日、県庁昭和庁舎で「ジョブラボシンプोजウム」How to

make Innovation」を開き、行政や金融機関の職員、大学生ら約40人が参加した。

同シンプोजウムは、地域におけるイノベーションの起こし方がテーマ。基調講演では地域コミュニケーションの起こし方がテーマ。二ティブランド提唱者で

隆成教授が「地域コミュニケーションを科学する」と題して講演した。

星合教授は、「第四次産業革命のIoT、AI、PP2Pにおける技術革新のイノベーションはGAFAに注目

ワード」などの海外勢や日本大手企業が行えばいい」とした上で、

「新結合」を語る星合教授

既存の資源を活用すること。例えばICTと地域創生、ICTと福祉、ICTとアートなど。新たなつながりにより化学反応、発火を起こし新たな価値観を生み出す。新結合は『つながり』が大切。新しいことをしよう、作ろう、生み出そうで、うまくいってない地域はた

るイノベーションは「新たな価値観の創出が疲弊した地域の救世主となる。地域に必要なイノベーションとして技術革新ではなく、『新結合』をやるべきだ」と指摘した。また、「新結合とは、

くさんある。驚くような新結合ができた時にビジネスチャンスが生まれる」と熱く語った。

最後に星合教授は「新結合・つながりという理論を基にしたイノベーションの普及というモデルを現在熊本で産学官連携で行っているが、どこかの地域で確立、実証されれば、その応用を普及させていきたい」と述べた。



「新結合」を語る星合教授